



静岡県浜松市 O邸（96年施工時）

使用商品／鉢物フェンス「ファンセル4型」



サンメイト株式会社
代表取締役 佐野 宏行氏 静岡県浜松市

設計のポイント——フロントガーデンスタイル

ガーデニングが楽しめる庭

東側道路から見た全景。住宅の顔であることを十分に意識して計画した門廻り。門と堀と植栽が殺風景な駐車スペースに彩りを添えており、敷地の外周には遮へいのための堀は設けず、透視性のあるメッシュフェンスで街景に溶け込ませました。

この住宅ではご夫婦の要望である「ガーデニングが楽しめる庭」を設計の核にすえています。敷地の形態は雑壇に造成され、建築協定として道路から1.5m以内に堀を設けてはいけないという条件が出されていました。1.5mセットバックすれば道路面と地盤面とは十分な差が生まれ、道行く人の視線が生活空間に届かないことから、思い切ってオープンなフロントガーデンのスタイルをとることにしました。建物の前面に大きく広がる芝生の庭は白いキャンバスのようにシンプルなデザインとし、ガーデニングへの自由な発想の余地

街並みにも配慮しながら生活を楽しむ

を提供しています。

セットバックしたことでの必要となった擁壁はファサードの重要な要素としてとらえ、建物の正面外観とマッチするレンガを積み上げました。建物の外観から堀へとレンガがつながり、宅地全体に一体感をだすことに成功、さらにボリューム感も出せました。

一方、道路から擁壁までの1.5mをどう使うかが課題となりましたが、このスペースは施主様と街との接点となることから街並みを構成する役割を持たせることにしました。

擁壁と同じレンガを使用して2段仕立ての花壇を作り、植栽のベースにコニファーを列植、間に季節の草花をレイアウトしています。アプローチはスペースの関係上、庭と一体の構成ですが、動線部分の床を白いタイルで統一することで道路から玄関までの流れをスムーズに誘導しています。

カーポート、外部収納、物干し場といった機能を支えるエクステリアは敷地の右側にまとめて設置しました。